

平成26年6月 データから見た業界の動き

■ 概 況

情報連絡員による県内の6月の業況報告は、4月の消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動減と原材料や燃料費等の値上がり分の価格転嫁が進まないなかで、企業収益は引き続き厳しい状況にある。

製造業は、業種別や業界内に景気回復の格差が生じている。

非製造業では、小売業を中心に消費者マインドの低下から売上が伸びず景気低迷が長引いている報告が多く寄せられた。

また、建設業や宿泊業等は、人手不足が深刻化しており工事の遅延や受注回避等も発生している。

今後は、原材料高、エネルギー価格の高止まり、人手不足による労務費の上昇など、コストアップによる収益圧迫が大きな課題となっており、売上は伸びている業界でも利益面では厳しいといった「増収減益」経営からの脱却が急がれている。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	約5%の値上げを実施。ギフト関係は不振だが、結婚式用の食材が持ち直し売上は前年同月比105%。値上げにより収益も改善傾向にある。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の輸出が好調だったが、OEMの落ち込みが大きく売上は前年同月比87%。
食料品（製麺）	景気回復が見込めず、悪化傾向にある。
繊維・同製品（織物）	裏地やインテリア関係は好調だが、その他の織物製品は売上が半減。
木材・木製品製造	木造建築業界に携わる職人等の不足から技術継承が滞り深刻化している。
家具製造	4月の消費税率の引き上げに伴い、住宅販売戸数は半減した。今後も消費マインドの回復には時間がかかると予測する。
窯業・土石（砂利）	燃料の高騰により経費増により経営への圧迫を懸念。
窯業・土石（山碎石）	燃料の高騰や運転手の高齢化による人手不足により輸送ダンプの確保難。
一般機器	前年同月比で比べると今年度は改善傾向にある。
電気機器①	電機関連の製造は、いまだ厳しい状況が続いている。
電気機器②	小ロットで短納期の注文が非常に多くなった。コスト面でも多くの企業との相見積りが多く単価を下げないと受注に結びつかない。
その他(宝飾①)	消費税率の引き上げの影響により小売部門に多少の落ち込みが見られた。
その他(宝飾②)	見通しが立たないほど、業況は悪化している。

● 非製造業

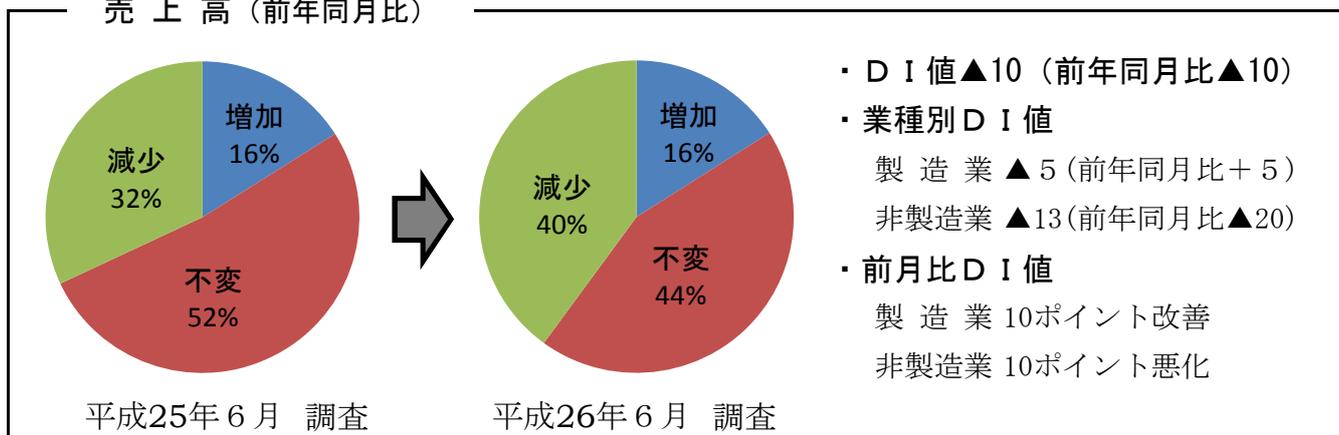
卸売（塗料）	原油価格上昇に伴う値上げを行いたいが、上昇分を全て価格転嫁できないため、結果として収益の悪化が予測される。
卸売（ジュエリー）	消費税率の引き上げに伴う消費者マインドの低下から売上が前年同月比10%減。
小売（青果）	仕入れ価格上昇により販売数量が減少傾向にある。
小売（水産物）	消費税率の引き上げに伴う消費者マインドの低下から景気回復の兆しが無い。
小売（電機製品）	消費税率の引き上げの駆け込み需要の反動によりテレビや太陽光は依然低迷しているが、エアコン、冷蔵庫等は回復傾向にある。
小売（石油）	イラク情勢の緊迫化による原油価格の高騰により県内のガソリンスタンドも店頭価格を値上げしたが、需要減により経営が圧迫されている。
商店街①	長年の固定客がある店舗は消費税増税の影響もないが、比較的新しい店舗は苦戦を強いられている。
商店街②	消費税率の引き上げによる影響は、飲食店は改善傾向にあるが物販は相変わらず厳しい状況が続いている。
商店街③	消費税率の引き上げの影響により組合で実施しているポイント利用が著しく減少している。
不動産取引	土地の購入や中古マンションの問い合わせが増加している。
宿泊業	求人広告を出しても応募者が少なく、賃上げによる人員確保も厳しいため、慢性的な人手不足となっている。
美容業	消費税率の引き上げや物価上昇等の影響により節約志向が高まっているため、客単価が低下。
廃棄物処理（事業系）	多くの企業で人件費、設備投資の償却などのコストアップが経営にのしかかっており経営者も価格や顧客の囲い込みに神経を鋭らせているため、これが際限のない事業者間の競争に繋がることを危惧している。
警備業	建設業者からの交通誘導の支払は、2ヶ月遅れのため資金繰りが一時的に厳しかった。業況は好転しているが、雇用人員の不足により仕事を断ることも出てきている。また、求人を行っても応募がいない状況。
建設業（総合）	公共事業の増加等により売上は引き続き増加傾向にあるが、技術者不足と人件費の上昇による経営不振が危惧される。
建設業（住宅関連）	雪害による屋根等の補修工事依頼が増えているが廻り切れず、職人や資材不足のため工事の遅延が発生している。
建設業（鉄構）	原材料の値上げ、人件費増により収益は対前年比でマイナスとなっている。
設備工事（電気工事）	3月末に比べると受注は減少傾向だが、2月の雪害や公共工事の工期延長等の影響により業界全体には楽観的なムードが広がっている。
設備工事（管設備）	消費税率引き上げの影響から新築工事やリフォーム等の民間工事の減少が続いているが、公共工事の増加により回復の兆しは感じられる。
運輸（バス）	国土交通省より4月から新運賃が適用され、バス代が上昇している。一方、雇用人員が減少しているため、車輛を減車する企業が増加。
運輸（トラック）	燃料高騰に加え高速道路料金の割引制度の改定等による実質値上げが収益の悪化に直結している。免許制度の改正により、若手運転者の確保が困難となり人手不足が発生。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

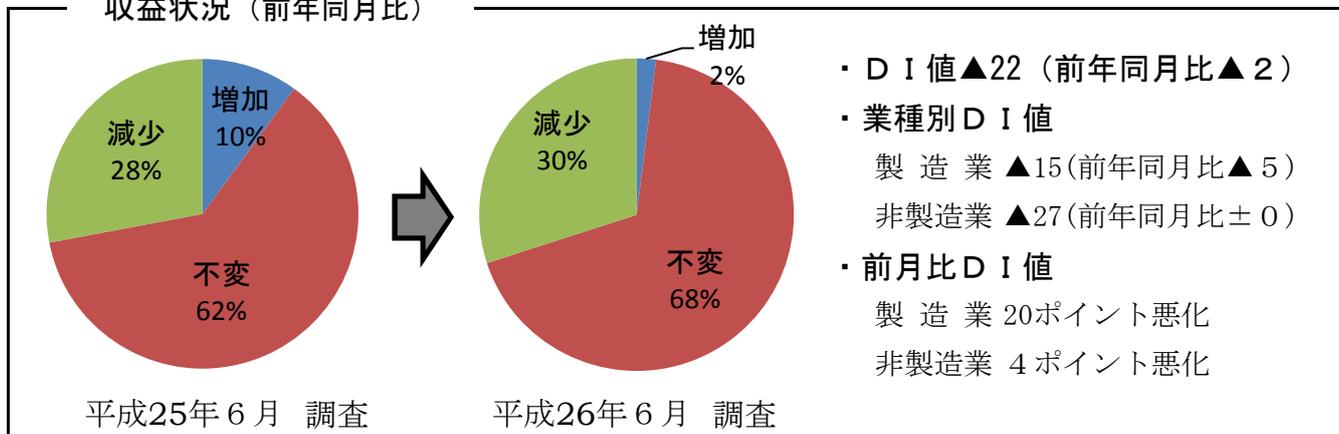
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2013/6	2014/5	2014/6	2013/6	2014/5	2014/6	2013/6	2014/5	2014/6
売 上 高	-10	-15	-5	7	-3	-13	0	-8	-10
収 益 状 況	-10	5	-15	-27	-23	-27	-20	-12	-22
景 況 感	-10	-20	-15	-20	-10	-17	-16	-14	-16

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売 上 高 (前年同月比)



収 益 状 況 (前年同月比)



景 況 感 (前年同月比)

